

ズバリ教えます!! 「世の中全てのエンディングノートに 共通する大事なこと」とは?⑥

「世の中全てのエンディングノートに共通する大事なこと」全6回で
お送りしたこのテーマも今回が最終回です。



前回、エンディングノート（以下：ノート）を手に入れて途中で書かなくなってしまう理由で、「どう書くか分からなくて、書くのをやめてしまった」の「どう書くか分からない」のうち、一番大変かつ重要なのは「自分自身が答えを決めていない」の「分からない」です、というお話をしました。

介護や財産・葬儀・遺言等々の問題に向きあい、その答えを自分自身で考えていくわけですが、じっくり考えた上で、また、過去の自分自身や周りの家族や友人を思いながら答えを出すべきものだと思います。思いが深ければ深いほど大変な事だと思います。



その結果、ノートを手に入れて書き始めてみた人、ノートを書き終えた人は先程の「こんなに大変だと思わなかったです…」という感想が出てくるのです。

エンディングノートを書いた方は誰も多かれ少なかれ同じ大変さを経験しているはずですし、この苦勞を避けてエンディングノートは完成しないと思います。すぐには答えの出ない事もあるかもしれません。

しかし、それを乗り越えて初めて万が一の時に残された家族が困らないノートができ、エンディングノートがあることの意義が出てくると感じております。

もし普段考える機会がなかったとすればエンディングノートを手にして、この機会に考えてみませんか？ 必ずしもひとりで悩まず、一緒に歩んできた奥様・家族の皆さん、周りのお仲間とも協力して考えていけば、時間はかかっても納得のいく答えが出るのではないのでしょうか？

最後に、もう一度お伝えします。

編集後記

先日、あるスーパーのイベント会場の横断幕が「クリスマス・イベント開催中」であることに気がつき、「まだ十一月に入ったばかりなのに」と驚いた。十一月といえば、文化の日・七五三・勤労感謝の日・紅葉狩り、また文化祭・音楽祭等があり、甚稱の季節でもある。世間が足早に歩を進めていく中、私はこの季節をじっくり楽しもうと思えます。本年もご愛読いただきありがとうございます。来年もまた宜しくお願ひ致します。(編集担当 萩原)

「世の中全てのエンディングノートに共通する大事なこと」それは何か？

それは、「自分の手で自分の意思をノートに書くこと」です！

1年間続けた今回のテーマはこれでおしまいです。長らくお付き合いいただきありがとうございました。

相続手続支援センター東信の岩下でした。



相続手続支援センター® 東信

TEL: 0268-25-6789

E-mail: koa-g@tkcnf.or.jp URL: <http://www.sozoku.koa-g.com/>

